# 平成３０年度第２回南砺市子ども・子育て会議次第

日時：平成３０年１１月２９日（木）午後７時
場所：福野庁舎　２階　２０１会議室

１　開　会

２　挨　拶

３　協議事項

（１）子ども・子育て支援事業計画（次世代育成支援の施策展開）の追加事項について　資料１

（２）第２期子ども・子育て支援事業計画策定について
①子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について　資料２～資料５

②今後のスケジュールについて　資料６

（３）その他

４　閉　会

# 南砺市子ども・子育て会議委員名簿

任期：平成30年4月1日から平成32年3月31日

| NO. | 役職 | 氏名 | 性別 | 団体名など | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 会長 | 三谷　直樹 | 男 | 南砺市自治振興会連合会 | |
| 2 | 副会長 | 西井　秀子 | 女 | 南砺市民生委員児童委員協議会 | |
| 3 | | 荒井　有紀 | 女 | 公募 | |
| 4 | | 磯辺　文雄 | 男 | 公募 | |
| 5 | | 内山　真寿美 | 女 | 放課後児童クラブ代表（さくらっこクラブ） | |
| 6 | | 奥野　康宏 | 男 | 南砺市PTA連絡協議会会長 | |
| 7 | | 河合　朱希代 | 女 | 公募 | |
| 8 | | 北清　俊一 | 男 | 南砺市商工会事務局長 | |
| 9 | | 齊藤　和枝 | 女 | 南砺市連合婦人会 | |
| 10 | | 齊藤　優華 | 女 | 認可外保育施設代表（寺子こどもえん） | |
| 11 | | 城岸　栄 | 男 | 公募 | |
| 12 | | 冨田　利通 | 男 | 南砺市中学校校長会（井波中学校校長） | |
| 13 | | 中井　邦夫 | 男 | 南砺市公民館連合会 | |
| 14 | | 中島　仁司 | 男 | 南砺市保育園保護者代表（平みどり保育園） | |
| 15 | | 中西　一夫 | 男 | 南砺市幼稚園保護者代表（認定こども園福野青葉幼稚園） | |
| 16 | | 畠中　昌代 | 女 | 南砺市母子保健推進員連絡協議会 | |
| 17 | | 本多　篠依 | 女 | 子育て支援センター代表（喜志麻保育園） | |
| 18 | | 簗田　晶子 | 女 | 南砺市保育士会代表（井波にじいろ保育園） | |
| 19 | | 山田　誠 | 男 | 南砺市小学校校長会（福光中部小学校校長） | |
| 20 | | 横山　一乃 | 女 | 南砺市幼稚園代表（認定こども園福光青葉幼稚園園長） | |

（50音順・敬称略）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務局 | 高田　勇 | 教育長 | |
| | 酒井　啓行 | 教育部長 | |
| | 河原　洋子 | 地域包括医療ケア部保健センター所長 | |
| | 武田　秀隆 | こども課長 | |
| | 溝口　早苗 | こども課主幹・子育て支援係長 | |
| | 吉岡　亘 | こども課主幹・保育園係長 | |
| | 谷戸　仁美 | こども課主幹 | |

資料１

# ○南砺市子ども・子育て支援事業計画
# 「次世代育成支援の施策展開」の追加事項について

## 基本目標Ⅲ　子育てと仕事の両立を支援し、安心して働けるまちづくり

### 主要施策１　職業生活と家庭生活の両立

#### 施策④　仕事と子育ての両立の支援

| 事業名<br>【担当課】 | 方針・内容等 | 実施状況・課題等 | 31年度に向けて | 29年度実績値 | 31年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 放課後子ども総合プランの推進<br>【こども課・生涯学習スポーツ課】 | 放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携を取りながら、一体型を中心とした実施を推進し、すべての児童の安全安心な居場所の確保に努めます。 | ・２９年度は、放課後児童クラブは９か所、放課後子ども教室は11か所で開設しています。<br>・現在は別の場所で活動していますが、連携して活動できるよう検討しながら進めます。 | 関係部署の連携強化<br>連携可能な実施方法の検討 | 放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型又は連携型実施箇所数<br>０か所 | 放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型又は連携型実施箇所数<br>２か所 |

## ■次世代育成支援対策推進法に関する施策体系図

※現行計画に付け加えた項目はフォントを英角ポップ体にしてあります。

**基本理念**

子どもたちの明るい未来をともに築き　子育ての喜びや夢を分かちあう　まちづくり

| 基本目標 | 主要施策 | 施策の方向 |
|---|---|---|
| Ⅰ 子どもの育ちを支え、安心して成長できるまちづくり | 1．多様な生涯学習の推進 | ① 幼児教育の充実<br>② 学校教育の充実<br>③ 社会教育の充実<br>④ スポーツの振興 |
| | 2．子育て家庭への経済的支援 | ① 給付制度の普及<br>② 助成制度の普及<br>③ 減免制度の普及 |
| | 3．子どもが健全に育つ環境づくり | ① 児童の健全育成<br>② 子どもの目から見たまちづくりの推進 |
| Ⅱ 人と人との絆が育む、子育て家庭が暮らしやすいまちづくり | 1．地域における子育て支援 | ① 地域における子育て支援サービスの充実<br>② 子育て支援のネットワークづくり |
| | 2．要保護児童等への対応などきめ細やかな取組の推進 | ① 児童虐待防止対策の充実<br>② ひとり親家庭等の自立支援の推進<br>③ 障がい児施策の充実<br>④ 支援が必要な子どもと保護者への心のケア |
| Ⅲ 子育てと仕事の両立を支援し、安心して働けるまちづくり | 1．職業生活と家庭生活の両立 | ① 多様化する保育ニーズへの対応<br>② 保育サービスの充実<br>③ 多様な働き方の実現と男性の子育て参加<br>④ 仕事と子育ての両立の支援<br>⑤ 子育てを支援する企業意識の普及 |
| Ⅳ 南砺の風土、自然、文化のなかで、子どもたちが健やかに育つまちづくり | 1．母性と乳幼児等の健康の確保 | ① 子どもや母親の健康の確保と相談体制<br>② 食育の推進<br>③ 思春期保健対策の充実<br>④ 小児医療の充実<br>⑤ 不妊への支援 |
| | 2．子どもの心身の健やかな成長に資する環境の整備 | ① 次代の親の育成<br>② 子どもの生きる力の育成に向けた環境の整備<br>③ 家庭や地域の教育力の向上<br>④ 命の大切さや家庭の役割等への理解 |
| Ⅴ 地域の優しいまなざしに見守られて、子どもたちが安全に育つまちづくり | 1．子育てを支援する生活環境の整備 | ① 良好な居住環境の確保<br>② 安全な道路交通環境の整備<br>③ 安心して外出できる環境の整備<br>④ 身近な遊び場の提供<br>⑤ 安全・安心まちづくりの推進等 |
| | 2．子ども等の安全の確保 | ① 子どもの交通安全を確保するための活動の推進<br>② 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進<br>③ 被害に遭った子どもの保護の推進 |

# 新・放課後子ども総合プラン　（2018（平成30）年９月14日公表）

**背景・課題**

○現行プランにおける放課後児童クラブ、放課後子供教室の両事業の実績は、放課後児童クラブの約30万人分整備が順調に進むなど、大きく伸びているが、近年の女性就業率の上昇等により、更なる共働き家庭等の児童数の増加が見込まれており、「小1の壁」を打破するとともに待機児童を解消するため放課後児童クラブの追加的な整備が不可欠な状況。

○小学校内で両事業を行う「一体型」の実施は、増加傾向にあるものの目標への到達を果たしていない。一方で、地域の実情に応じて社会教育施設や児童館等の小学校以外の施設を活用して両事業を行い、多様な体験・活動を行っている例も見られる。

○そのため、引き続き共働き家庭等の「小1の壁」・「待機児童」を解消するとともに、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブと放課後子供教室の両事業の計画的な整備等を推進するため、下記のとおり目標を設定し、新たなプランを策定。

## 「新・放課後子ども総合プラン」に掲げる目標（2019～2023年）

■放課後児童クラブについて、2021年度末までに約25万人分を整備し、待機児童解消を目指し、その後も女性就業率の上昇を踏まえ2023年度末までに計約30万人分の受け皿を整備（約122万人⇒約152万人）

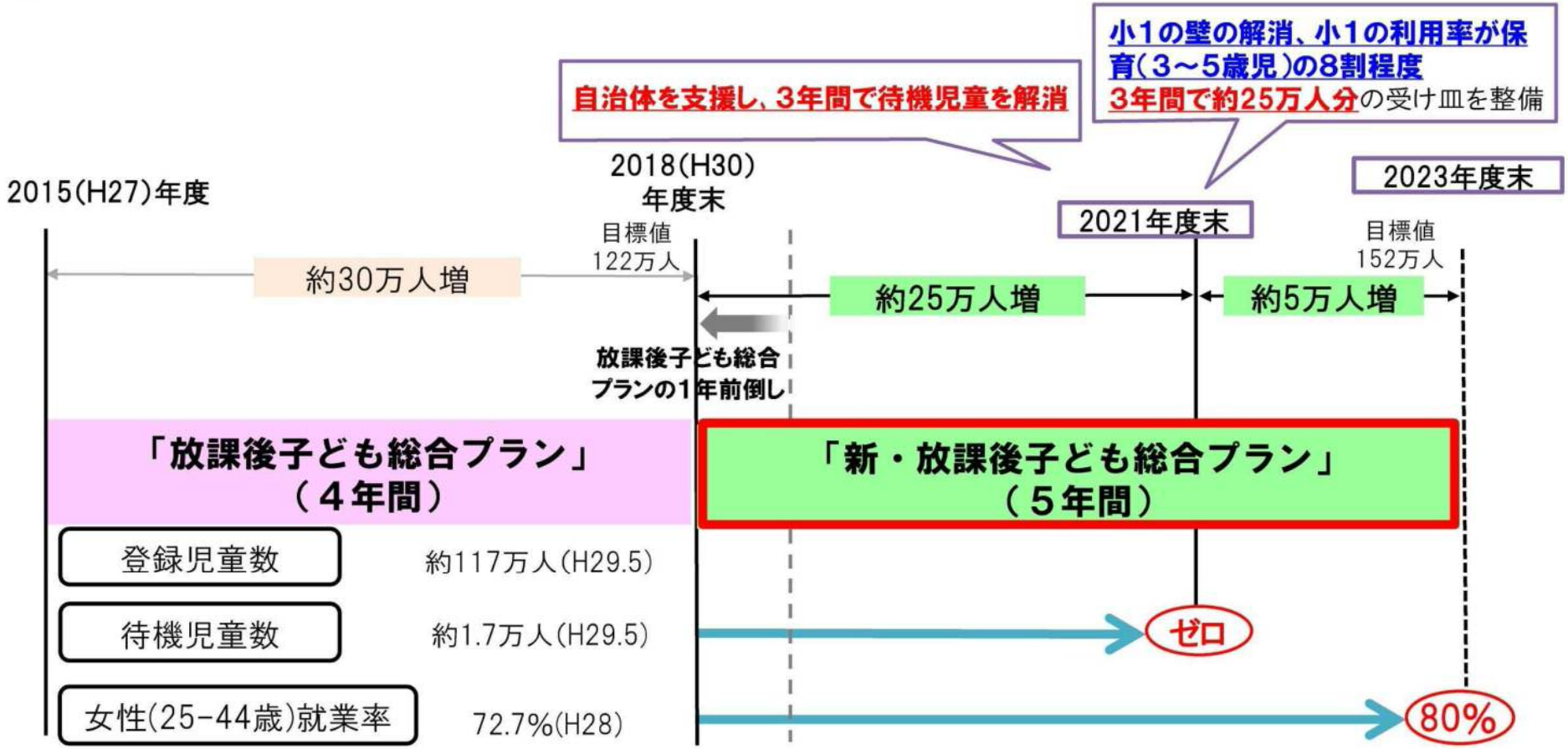
■全ての小学校区で、両事業を一体的に又は連携して実施し、うち小学校内で一体型として１万箇所以上で実施することを目指す。

■両事業を新たに整備等する場合には、学校施設を徹底的に活用することとし、新たに開設する放課後児童クラブの約80%を小学校内で実施することを目指す。

■子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子どもの自主性、社会性等のより一層の向上を図る。

# 放課後児童クラブの受け皿整備（「新・放課後子ども総合プラン」）

「新・放課後子ども総合プラン」において示す目標（抜粋）
放課後児童クラブの量的拡充を図り、2021年度末までに約25万人分を整備し待機児童の解消を目指し、女性就業率の上昇を踏まえ2023年度末までにさらに約５万人分を整備し、５年間で約30万人分の受け皿を整備する。
122万人⇒152万人



資料２

# 平成３０年度　子ども・子育て支援事業に関する アンケート調査（ニーズ調査）実施の概要

## １　調査の目的

南砺市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく「子ども・子育て支援制度」の下で、教育、保育、子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています（平成 27 年度～平成 31 年度）。

本調査は、第２期計画（平成３２年度～平成 ３６年度）を策定するために、計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」の把握のために行うものです。

●「子ども・子育て支援制度」について

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に応じて、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

- 子どもの成長過程の中では、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達とともに、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、その環境を整備することを目指しています。

- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たす上で、子育ての権利を享受することが可能となるよう、支援を行うものです。

  地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する保護者の負担や不安、孤立感を和らげる助けとなることで、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合い、親として成長するとともに、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、より充実した支援の実現を目指しています。

## ２　調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、３種類の調査票の趣旨は次のとおりです。

### （１）調査票の種類と調査対象者等

調査対象者別の調査内容は、以下のとおりです。

図表 1.1　調査の実施方法

| | | |
|---|---|---|
| ①調査票「子ども・子育て支援事業に関するアンケート調査（就学前児童用）」 | | |
| | 調査対象者 | 就学前児童を持つ保護者 |
| | 調査件数 | 1,570 件 |
| | 調査内容 | 家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業の現状・利用意向に関する設問 |
| ②調査票「子ども・子育て支援事業に関するアンケート調査（小学生用）」 | | |
| | 調査対象者 | 小学校児童を持つ保護者 |
| | 調査件数 | 1,860 件 |
| | 調査内容 | 家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、放課後の過ごし方に対する希望に関する設問 |
| ③調査票「子ども・子育て支援事業に関するアンケート調査（妊産婦用）」 | | |
| | 調査対象者 | 妊産婦 |
| | 調査件数 | 290 件 |
| | 調査内容 | 現在の状況、妊娠・出産、現状と理想の子どもの数及びその理由、産休・育休、子育ての悩み・相談先、家庭像、実施事業の現状と利用意向、少子化問題についての設問 |

## ３　調査の実施方法と配布・回収方法

### （１）調査時期と調査方法

子ども・子育て支援ニーズ調査は、平成３０年１２月１１日～１２月２８日にかけて実施します。

図表 1.2　調査票の配布・回収状況

| 区　分 | 調査方法と配布・回収状況 |
|---|---|
| 就学前児童の保護者 | ・幼稚園・認可保育園等を利用している就園児の保護者には、施設を通して調査票を配布し、回収については施設に提出または郵送する方法とします。<br>・未就園児の保護者には、郵送により調査票を配布・回収します。 |
| 小学校児童の保護者 | ・市立小学校に通学している小学生の保護者には小学校を通して調査票を配布し、回収については郵送する方法とします。<br>・その他の学校を利用している小学生の保護者には郵送により調査票を配布・回収します。 |
| 妊産婦 | ・妊産婦には郵送により調査票を配布・回収します。 |

資料３

**就学前児童の保護者の方へ**

# 子ども・子育て支援事業に関する アンケート調査票

【ご記入にあたってのお願い】

１　アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。
（住所・氏名を記入される必要はありません。）

２　回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただくところと、数字などを記入していただくところがあります。

３　設問によって、「あてはまる番号１つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（　）内には、具体的な内容を記入してください。

４　数字で時間（時刻）を記入していただくところは、24 時間制（例：午後６時→18 時）で記入してください。

５　設問の回答によって、その次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

６　記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ封をして、１２月２８日（金）までに郵便ポストに投函してください。

＊市内の保育園と認定こども園に回収箱がありますので、ご利用ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

**南砺市役所 教育委員会 こども課　電話 0763-23-2010**

# 調査実施の趣旨とその目的

南砺市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づき、新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています（平成 27 年度～平成 31 年度）。

本調査は、第２期計画（平成 32 年度～平成 36 年度）を策定するために、計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」の把握のために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望は変更していただいても構いません。

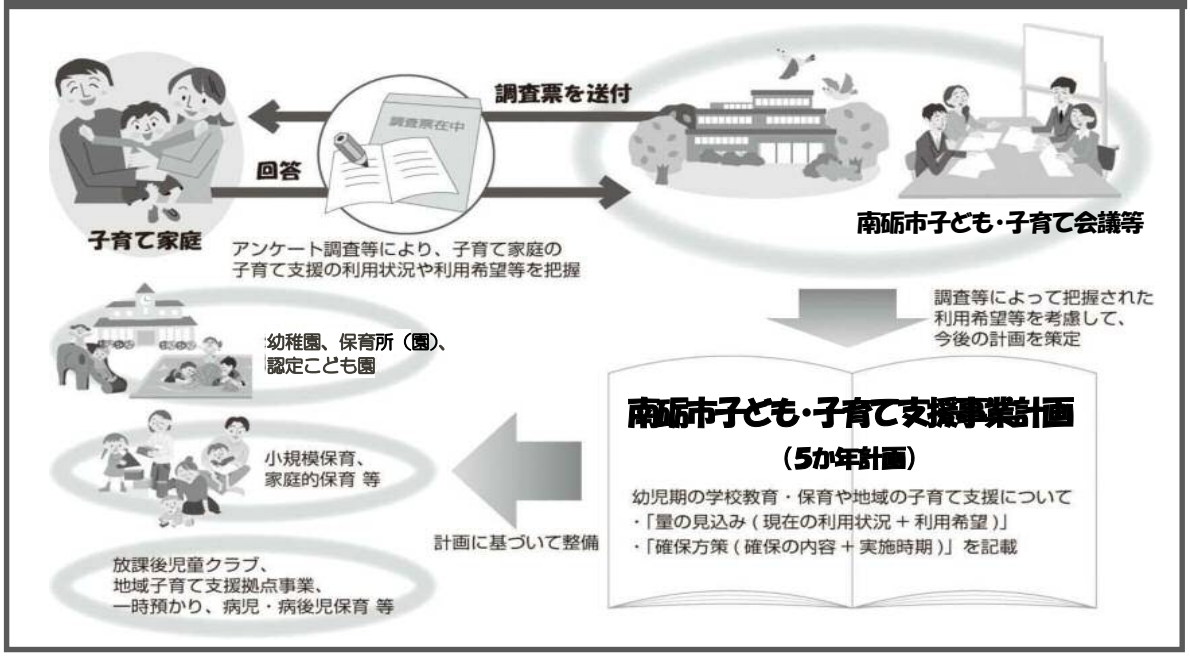
また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

● 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に応じて、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長過程の中では、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達とともに、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、その環境を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たす上で、子育ての権利を享受することが可能となるよう、支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する保護者の負担や不安、孤立感を和らげる助けとなることで、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合い、親として成長するとともに、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、より充実した支援の実現を目指しています。

## いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます




（用語の定義）　この調査票における用語の定義は以下のとおり

幼　稚　園：学校教育法に定める、３～５歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第 22 条）

南砺市内に該当する施設はありません
市外幼稚園

保　育　園：児童福祉法に定める、保育を必要とする０～５歳児に対して保育を行う施設
（児童福祉法第 39 条）

南砺市内で該当する施設
（公立）城端さくら保育園　平みどり保育園　上平保育園　利賀ささゆり保育園
山野保育園　井口保育園　福野ひまわり保育園
福野おひさま保育園　福光どんぐり保育園
福光南部あおぞら保育園　福光東部かがやき保育園

（私立）喜志麻保育園

認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第２条第６項）

南砺市内で該当する施設
（公立）保育所型認定こども園井波にじいろ保育園
（私立）幼保連携型認定こども園福野青葉幼稚園
幼保連携型認定こども園福光青葉幼稚園

子　育　て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

教　　育：問 14 までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問 15 以降においては幼児期の学校における教育の意味

## お住まいの地域についてうかがいます。

**問１　お住まいの地区はどこですか。**（あてはまる番号１つに○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．城端地区 | ２．平地区 | ３．上平地区 | ４．利賀地区 |
| ５．井波地区 | ６．井口地区 | ７．福野地区 | ８．福光東部小学校区 |
| ９．福光中部小学校区 | 10．福光南部小学校区 | | |

## 封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

**問２　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。**（□内に数字でご記入ください）

平成　　年　　月生まれ

**問３　宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。**
※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。
※お子さんが２人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）

きょうだい数　　人　　末子の生年月　平成　　年　　月生まれ

**問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。**
（あてはまる番号１つに○）

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

**問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。**
（あてはまる番号１つに○）

１．配偶者がいる　　２．配偶者はいない

**問６　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。**
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号１つに○）

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

## 宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

**問７　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。**
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| １．父母ともに | ２．母親 | ３．父親 | ４．祖父母 | ５．幼稚園 |
| ６．保育園 | ７．認定こども園 | ８．その他（　　） | | |

**問８　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。**
（あてはまる番号すべてに○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．家庭 | ２．地域 | ３．幼稚園 | ４．保育園 |
| ５．認定こども園 | ６．その他（　　） | | |

**問９　日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。**（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|---|---|
| １．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ **問9-1へ** |
| ２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| ３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒ **問9-2へ** |
| ４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| ５．いずれもいない　⇒ **問 10 へ** | |

**問９-1　問９で「１．」または「２．」に○をつけた方にうかがいます。**
**祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**
（あてはまる番号すべてに○）

| |
|---|
| １．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| ２．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| ３．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| ４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| ５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| ６．その他（　　） |

**問９-2　問９で「３．」または「４．」に○をつけた方にうかがいます。**
**友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。**（あてはまる番号すべてに○）

| |
|---|
| １．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| ２．友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| ３．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| ４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| ５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| ６．その他（　　） |

**問 10　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。**（あてはまる番号１つに○）

| | |
|---|---|
| １．いる／ある　⇒ **問 10-1 へ** | ２．いない／ない　⇒ **問 11 へ** |

**問 10-1　問 10 で「１．いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。**
**お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。**
（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|---|---|
| １．祖父母等の親族 | ２．友人や知人 |
| ３．近所の人 | ４．子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等） |
| ５．厚生センター・保健センター | ６．保育士 |
| ７．幼稚園教諭（保育教諭） | ８．民生委員・児童委員 |
| ９．かかりつけの医師 | 10．自治体の子育て関連担当窓口（こども課） |
| 11．その他　【例】ベビーシッター | |

## 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

**問 11　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。**

**（1）母親**　（あてはまる番号<u>1つに</u>○）　　※父子家庭の場合は記入不要です。

| | |
|---|---|
| 1．フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>2．フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である<br>3．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>4．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | **⇒（1）-1へ** |
| 5．以前は就労していたが、現在は就労していない<br>6．これまで就労したことがない | **⇒（2）へ** |

**（1）-1　<u>（1）で「1．～4．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。</u>**
**1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に<u>数字でご記入</u>ください。**
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 週当たり | 日程度 | 1 日当たり | 時間程度 |

**（1）-2　<u>（1）で「1．～4．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。</u>**
**家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に<u>数字でご記入</u>ください。**
※時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は、必ず　(例) 09 時台、18 時台のように、24 時間制でお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家を出る時刻 | 時台 | 帰宅時刻 | 時台 |

**（2）父親**　（あてはまる番号<u>1つに</u>○）　　※母子家庭の場合は記入不要です。

| | |
|---|---|
| 1．フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない<br>2．フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である<br>3．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない<br>4．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | **⇒（2）-1へ** |
| 5．以前は就労していたが、現在は就労していない<br>6．これまで就労したことがない | **⇒ 問 13 へ** |

**（2）-1　<u>（2）で「1．～4．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。</u>**
**1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に<u>数字でご記入</u>ください。**
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 週当たり | 日程度 | 1 日当たり | 時間程度 |

（２）-2　（２）で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。
※時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は、必ず　(例) 09 時台、18 時台のように、24 時間制でお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家を出る時刻 | 時台 | 帰宅時刻 | 時台 |

問 12　問 11 の（１）または（２）で「３．～４．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。　⇒ 該当しない方は、問 13 へ
フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号１つに○）

（１）母親

1．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望
4．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

（２）父親

1．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望
4．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 13　問 11 の（１）または（２）で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。　⇒ 該当しない方は、問 14 へ
就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・丸数字それぞれ１つに○）
※該当する□内には数字をご記入ください。

（１）母親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．１年より先、一番下の子どもが　　歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
→希望する就労形態
① フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1 週当たり　　日程度　　１日当たり　　時間程度

（２）父親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．１年より先、一番下の子どもが　　歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
→希望する就労形態
① フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1 週当たり　　日程度　　１日当たり　　時間程度

## 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問 14-1 に示した事業が含まれます。

**問 14　宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。**
（あてはまる番号１つに○）

| | |
|---|---|
| 1．利用している　⇒ **問 14-1 へ** | 2．利用していない　⇒ **問 14-5 へ** |

**問 14-1　問 14-1～問 14-4 は、問 14 で「１．利用している」に○をつけた方にうかがいます。**
**宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。**
※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1．幼稚園
（通常の就園時間の利用）
市内に該当する施設はありません
市外の幼稚園

2．幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）

3．認可保育所
市内の公立保育園、私立喜志麻保育園
市外の保育所（園）
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）

4．認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
保育所型認定こども園井波にじいろ保育園
幼保連携型認定こども園福野青葉幼稚園
幼保連携型認定こども園福光青葉幼稚園

5．事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設）
南砺市民病院　院内保育所「かるがも広場」
南砺中央病院　院内保育所「どんぐり」
福光あおいクリニック　託児所「まんまぐらんま」
など

6．企業主導型保育施設
（企業が主に運営する認可外保育施設）
あすなろ保育園

7．その他認可外の保育施設
寺子こどもえん

8．居宅訪問型保育
（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）

9．ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業）

10．その他
（　　）

**問 14-2　平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。**
**また、希望としてはどのくらい利用したいですか。**
※１週当たり何日程度、１日当たり何時間程度（何時台から何時台まで）かを、□内に数字でご記入ください。
※時間（時刻）は、必ず（例）08 時台、18 時台のように 24 時間制でご記入ください。
※２つ以上回答された方は、若い番号の事業についてお答えください。

**（１）現在**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| １週当たり | 日程度 | １日当たり | 時間程度（ | 時台～ | 時台） |

**（２）希望**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| １週当たり | 日程度 | １日当たり | 時間程度（ | 時台～ | 時台） |

**問 14-3　現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。**
（あてはまる番号１つに○）

| | |
|---|---|
| １．南砺市内 | ２．南砺市外 |

**問 14-4　平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。**
（あてはまる番号すべてに○）

１．子どもの教育や発達のため
２．子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
３．子育て（教育を含む）をしている方に就労予定がある／求職中である
４．子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
５．子育て（教育を含む）をしている方に病気や障害がある
６．子育て（教育を含む）をしている方が学生である
７．その他（　　）

**問 14-5　問 14 で「２．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。**
**利用していない理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてに○）
※「８.」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。

１．（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
２．子どもの祖父母や親戚がみている
３．近所の人や父母の友人・知人がみている
４．利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
５．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
６．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
７．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
８．子どもがまだ小さいため（　　歳くらいになったら利用しようと考えている）
９．その他（　　）

**問 15　すべての方にうかがいます。**

**現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。**（あてはまる番号すべてに○）

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。認可保育所の場合、世帯収入に応じて利用料が設定されています。

| | |
|---|---|
| 1．幼稚園<br>（通常の就園時間の利用） | 2．幼稚園の預かり保育<br>（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3．認可保育所<br>（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの） | 4．認定こども園<br>（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 5．小規模な保育施設<br>（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19 人のもの） | 6．家庭的保育<br>（保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業） |
| 7．事業所内保育施設<br>（企業が主に従業員用に運営する施設） | 8．企業主導型保育施設 |
| 9．その他認可外の保育施設 | 10．居宅訪問型保育<br>（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 11．ファミリー・サポート・センター<br>（地域住民が子どもを預かる事業） | 12．その他<br>（　　） |

**問 15-1　教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。**（あてはまる番号１つに○）

| | |
|---|---|
| 1．南砺市内 | 2．南砺市外 |

**問 15-2　問 15 で「１　幼稚園」または「２　幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「３～１２」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。**（あてはまる番号１つに○）

| | |
|---|---|
| 1．はい（幼稚園等を強く希望する） | 2．いいえ（幼稚園等を強く希望しない） |

## 宛名のお子さんの地域の子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがいます。

**問 16　宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。**
（あてはまる番号すべてに○）
※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1．地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
　１週当たり　　回　程度　　もしくは　　１ヶ月当たり　　回　程度

2．その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：　　）
　１週当たり　　回　程度　　もしくは　　１ヶ月当たり　　回　程度

3．利用していない

**問 17　問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。**（あてはまる番号１つに○）
※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1．利用していないが利用したい
　１週当たり　　回　程度　　もしくは　　１ヶ月当たり　　回　程度

2．すでに利用しているが利用日数を増やしたい
　１週当たり 更に　　回　程度　　もしくは　　１ヶ月当たり 更に　　回　程度

3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

**問 18　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。**
※①～⑦の事業ごと、Ａ～Ｃのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。
※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

| | A 知っている | | B これまでに利用したことがある | | C 今後利用したい | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①マタニティ教室 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ②乳幼児発育相談 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ③家庭教育に関する学級・講座 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ④教育センター | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑥こども課（女性・こども相談室） | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑦7か月児離乳食教室 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |

## 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

**問 19　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。**

（（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに〇）

※希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。

（例）08 時台、18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所（園）、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

**（1）土曜日**

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に1～2回は利用したい

⇨ 利用したい時間帯　　時台から　　時台まで

**（2）日曜・祝日**

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に1～2回は利用したい

⇨ 利用したい時間帯　　時台から　　時台まで

**問 19-1　問 19 の（1）もしくは（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてに〇）

1．月に数回仕事が入るため　　2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため　　4．息抜きのため
5．その他（　　）

**問 20　「幼稚園」を利用している方にうかがいます。　⇒ 利用されていない方は、問 21 へ**

**宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。**（あてはまる番号1つに〇）

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。

（例）08 時台、18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1．利用する必要はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3．休みの期間中、週に数日利用したい

⇨ 利用したい時間帯　　時台から　　時台まで

**問 20-1　問 20 で「3．休みの期間中、週に数日利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてに〇）

1．週に数回仕事が入るため　　2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親等、親族の介護や手伝いが必要なため　　4．息抜きのため
5．その他（　　）

## 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
## （平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ）

**問 21　平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 14 で「１．」に○をつけた方）にうかがいます。　⇒ 利用されていない方は、問 22 へ**

**この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありますか。**
（あてはまる番号１つに○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．あった | ⇒ **問 21-1 へ** | ２．なかった | ⇒ **問 22 へ** |

**問 21-1　宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法はどれになりますか。**（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ、おおよその日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の場合も１日と数えます。）

| １年間の対処方法 | 日数 |
|---|---|
| １．父親が休んだ | 日 |
| ２．母親が休んだ | 日 |
| ３．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった | 日 |
| ４．父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた | 日 |
| ５．病児・病後児の保育を利用した | 日 |
| ６．ベビーシッターを利用した | 日 |
| ７．ファミリー・サポート・センターを利用した | 日 |
| ８．仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 日 |
| ９．その他（　　） | 日 |

**問 21-2　問 21-1 で「１．」「２．」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。**
**その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。**
（あてはまる番号１つに○）
※日数についても□内に数字でご記入ください。（１年間でお考えください）
※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

| | | |
|---|---|---|
| １．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい | ⇒　　日 | ⇒ **問 21-3 へ** |
| ２．利用したいとは思わない | | ⇒ **問 21-4 へ** |

**問 21-3　問 21-2 で「１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のどの事業形態が望ましいと思いますか。**
（あてはまる番号すべてに○）

１．他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業

２．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

３．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）

４．その他（　　）

⇒ **問 22 へ**

**問 21-5 へ**

**問 21-4　問 21-2 で「２．利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。**
**そう思う理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|---|---|
| １．病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | ２．地域の事業の質に不安がある |
| ３．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | |
| ４．利用料がかかる・高い | ５．利用料がわからない |
| ６．親が仕事を休んで対応する | ７．その他（　　） |

⇒ **問 22 へ**

**問 21-5　問 21-1 で「３．～９．」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。**
**その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。**
（あてはまる番号１つに○）
※「３．～９．」のうち仕事を休んで看たかった日数（１年間でお考えください）を□内に数字でご記入ください。

| | | |
|---|---|---|
| １．できれば仕事を休んで看たい　⇒ | 日 | ⇒ **問 22 へ** |
| ２．休んで看ることは非常に難しい | | ⇒ **問 21-6 へ** |

**問 21-6　問 21-5 で「２．休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。**
**そう思う理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|---|---|
| １．子どもの看護を理由に休みがとれない | ２．自営業なので休めない |
| ３．休暇日数が足りないので休めない | ４．その他（　　） |

## 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

**問 22　宛名のお子さんについて、定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。**（あてはまる番号すべてに○）
※１年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

| 利用している事業 | 日数（年間） |
|---|---|
| １．一時預かり<br>（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業） | 日 |
| ２．幼稚園の預かり保育<br>（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ） | 日 |
| ３．ファミリー・サポート・センター<br>（地域住民が子どもを預かる事業） | 日 |
| ４．ベビーシッター | 日 |
| ５．その他（　　） | 日 |
| ６．利用していない | |

**問 22-1　問 22 で「６．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。**
**現在利用していない理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|---|---|
| １．特に利用する必要がない | ２．利用したい事業が地域にない |
| ３．地域の事業の質に不安がある | ４．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| ５．利用料がかかる・高い | ６．利用料がわからない |
| ７．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない | ８．事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| ９．その他（　　） | |

**問 23　宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。**
（あてはまる番号・丸数字すべてに○）
※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

| | | |
|---|---|---|
| １．利用したい | | 計　　日 |
| | ①　私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | 日 |
| | ②　冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院　等 | 日 |
| | ③　不定期の就労 | 日 |
| | ④　その他（　　） | 日 |
| ２．利用する必要はない | | |

問 23-1 へ　　問 24 へ

**問 23-1　問 23 で「１．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**
**問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。**
（あてはまる番号すべてに○）

| |
|---|
| １．大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育園等） |
| ２．小規模施設で子どもを預かる事業（例：小規模保育、家庭的保育） |
| ３．地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| ４．その他（　　） |

**問 24　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。**（あてはまる番号・丸数字すべてに○）
※それぞれの泊数も□内に数字でご記入ください。

| １年間の対処方法 | | 泊数 |
|---|---|---|
| １．あった | ①　（同居者を含む）親族・知人にみてもらった | 泊 |
| | ②　認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した | 泊 |
| | ③　仕方なく子どもを同行させた | 泊 |
| | ④　仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 泊 |
| | ⑤　その他（　　） | 泊 |
| ２．なかった | | |

**問 24-1　問 24 で「１．あった　①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。　⇒「1. ①」を選択していない方は、問 25 へ**
その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号１つに○）

| | | |
|---|---|---|
| １．非常に困難 | ２．どちらかというと困難 | ３．特に困難ではない |

## 宛名のお子さんが5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

**⇒　5歳未満の方は、問 30 へ**

**問 25　宛名のお子さんが小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）**
※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。
（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

| | |
|---|---|
| 1．自宅 | 週　　日くらい |
| 2．祖父母宅や友人・知人宅 | 週　　日くらい |
| 3．塾や習い事<br>（ピアノ教室、学習塾、スポーツ少年団など） | 週　　日くらい |
| 4．児童館※1 | 週　　日くらい |
| 5．放課後子ども教室※2 | 週　　日くらい |
| 6．放課後児童クラブ（学童保育） | 週　　日くらい　→下校時から　　時台まで |
| 7．ファミリー・サポート・センター | 週　　日くらい |
| 8．とやまっ子さんさん広場<br>（子育て支援寺子クラブ、北野子どもふれあい広場、いのくち放課後クラブ、五箇山子ども広場） | 週　　日くらい |
| 9．放課後等デイサービス※3 | 週　　日くらい |
| 10．その他（公民館、公園など） | 週　　日くらい |

※1　児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6．」に回答
※2　地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
※3　就学中の障がい児の方に対し、放課後や学校休業日に、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを提供します。

**問 26　宛名のお子さんが小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。**（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。
（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。
※だいぶ先のことになりますので、現在お持ちのイメージでお答えください。

| | |
|---|---|
| 1．自宅 | 週　　日くらい |
| 2．祖父母宅や友人・知人宅 | 週　　日くらい |
| 3．塾や習い事<br>（ピアノ教室、学習塾、スポーツ少年団など） | 週　　日くらい |
| 4．児童館※1 | 週　　日くらい |
| 5．放課後子ども教室 | 週　　日くらい |
| 6．放課後児童クラブ（学童保育） | 週　　日くらい　→下校時から　　時台まで |
| 7．ファミリー・サポート・センター | 週　　日くらい |
| 8．とやまっ子さんさん広場<br>（子育て支援寺子クラブ、北野子どもふれあい広場、いのくち放課後クラブ、五箇山子ども広場） | 週　　日くらい |
| 9．放課後等デイサービス | 週　　日くらい |
| 10．その他（公民館、公園など） | 週　　日くらい |

※1　児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6．」に回答

**問 27　問 25 または問 26 で「６．放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。**
**宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。**
（（１）（２）それぞれについて、あてはまる番号１つに○）
※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。
（例）08 時台、18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

**（１）土曜日**

| | | |
|---|---|---|
| １．低学年（１～３年生）の間は利用したい<br>２．高学年（４～６年生）になっても利用したい | ⇨ | 利用したい時間帯<br>時台から　　時台まで |
| ３．利用する必要はない | | |

**（２）日曜・祝日**

| | | |
|---|---|---|
| １．低学年（１～３年生）の間は利用したい<br>２．高学年（４～６年生）になっても利用したい | ⇨ | 利用したい時間帯<br>時台から　　時台まで |
| ３．利用する必要はない | | |

**問 28　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。**（あてはまる番号１つに○）
※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。
（例）08 時台、18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

| | | |
|---|---|---|
| １．低学年（１～３年生）の間は利用したい<br>２．高学年（４～６年生）になっても利用したい | ⇨ | 利用したい時間帯<br>時台から　　時台まで |
| ３．利用する必要はない | | |

**問 29　現在、南砺市では放課後児童クラブ（学童保育）の利用料は延長利用を除き無料となっています。もし、有料となった場合は、いくらまで負担することができますか。**（あてはまる番号１つに○）

| | |
|---|---|
| １．3,000 円未満→（具体的に＿＿＿＿＿＿円） | ２．3,000 円以上 4,000 円未満 |
| ３．4,000 円以上 5,000 円未満 | ４．5,000 円以上 6,000 円未満 |
| ５．6,000 円以上 7,000 円未満 | ６．7,000 円以上 |

○参考　放課後児童クラブ利用料
【県内Ａ市】通常月：概ね 10,000 円、８月：概ね 20,000 円
【県内Ｂ市】通常月：4,000 円、長期休業日を含む月：5,000 円、８月：10,000 円
【県内Ｃ市】3,750 円（土曜利用は 600 円追加、延長利用は 400 円追加）

## 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

**問 30　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。**
（母親、父親それぞれについて、あてはまる番号１つに○）
※取得していない方はその理由をご記入ください。

| （１）母親（いずれかに○） | （２）父親（いずれかに○） |
|---|---|
| １．働いていなかった | １．働いていなかった |
| ２．取得した（取得中である） | ２．取得した（取得中である） |
| ３．取得していない | ３．取得していない |
| ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） | ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） |

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．（産休後）仕事に早く復帰したかった
４．仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育園などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取得できることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
15．その他　母親（　　）
　　父親（　　）

**問 30-1　子どもが原則１歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み※1、子どもが満３歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み※2があります。この仕組みを知っていましたか。**（あてはまる番号１つに○）

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
２．育児休業給付のみ知っていた
３．保険料免除のみ知っていた
４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※1　保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６ヶ月または２歳になるまで
※2　法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置も含めた期間

**問 30-2　問 30 で「２．取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。**

**⇒ 該当しない方は、問 31 へ**

**育児休業取得後、職場に復帰しましたか。**（あてはまる番号１つに○）

**（１）母親**

| |
|---|
| １．育児休業取得後、職場に復帰した |
| ２．現在も育児休業中である |
| ３．育児休業中に離職した |

**（２）父親**

| |
|---|
| １．育児休業取得後、職場に復帰した |
| ２．現在も育児休業中である |
| ３．育児休業中に離職した |

**問 30-3　問 30-2 で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**

**育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。**（どちらか１つに○）

※年度初めでの認可保育施設入所を希望したが、復帰が１月～２月頃だったため、入所までの間、一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「１.」と回答してください。

※年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「１.」と回答してください。

**（１）母親**

| | |
|---|---|
| １．年度初めの入園に合わせたタイミングだった | ２．それ以外だった |

**（２）父親**

| | |
|---|---|
| １．年度初めの入園に合わせたタイミングだった | ２．それ以外だった |

**問 30-4　育児休業から「実際」に職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内での「希望」の育児休業期間としては、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。**（□内に数字でご記入ください。）

**（１）母親**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **実際の取得期間** | 歳 | ヶ月 | **希望** | 歳 | ヶ月 |

**（２）父親**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **実際の取得期間** | 歳 | ヶ月 | **希望** | 歳 | ヶ月 |

**問 30-5　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。**（□内に数字でご記入ください。）

| **（１）母親** | **（２）父親** |
|---|---|
| 歳　　ヶ月 | 歳　　ヶ月 |

**問 30-6　問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。**
**希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。**

**（1）「希望」より早く復帰した方**（あてはまる番号すべてに○）

**①母親**

| | |
|---|---|
| 1．希望する保育園に入るため | 2．配偶者や家族の希望があったため |
| 3．経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5．その他（　　） | |

**②父親**

| | |
|---|---|
| 1．希望する保育園に入るため | 2．配偶者や家族の希望があったため |
| 3．経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5．その他（　　） | |

**（2）「希望」より遅く復帰した方**（あてはまる番号すべてに○）

**①母親**

| | |
|---|---|
| 1．希望する保育園に入れなかったため | 2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3．配偶者や家族の希望があったため | 4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5．子どもをみてくれる人がいなかったため | 6．その他（　　） |

**②父親**

| | |
|---|---|
| 1．希望する保育園に入れなかったため | 2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3．配偶者や家族の希望があったため | 4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5．子どもをみてくれる人がいなかったため | 6．その他（　　） |

**問 30-7　問 30-2 で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**
**育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。**
（あてはまる番号１つに○）

**（1）母親**

| | |
|---|---|
| 1．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） | ⇒ **問 31 へ** |
| 2．利用した | ⇒ **問 31 へ** |
| 3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） | ⇒ **問 30-8 へ** |

**（2）父親**

| | |
|---|---|
| 1．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） | ⇒ **問 31 へ** |
| 2．利用した | ⇒ **問 31 へ** |
| 3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） | ⇒ **問 30-8 へ** |

**問 30-8　問 30-7 で「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。**

**短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。**
（あてはまる番号すべてに○）

**（１）母親**

| |
|---|
| １．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| ２．仕事が忙しかった |
| ３．短時間勤務にすると給与が減額される |
| ４．短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる |
| ５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| ６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| ７．子育てや家事に専念するため退職した |
| ８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| ９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10．その他（　　） |

**（２）父親**

| |
|---|
| １．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| ２．仕事が忙しかった |
| ３．短時間勤務にすると給与が減額される |
| ４．短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる |
| ５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| ６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| ７．子育てや家事に専念するため退職した |
| ８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| ９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10．その他（　　） |

**問 30-9　問 30-2 で「２．現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。**

**⇒ 該当しない方は、問 31 へ**

**宛名のお子さんが１歳になったときに必ず預けられる制度があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる制度があっても１歳になる前に復帰しますか。**
（あてはまる番号１つに○）

**（１）母親**

| | |
|---|---|
| １．１歳になるまで育児休業を取得したい | ２．１歳になる前に復帰したい |

**（２）父親**

| | |
|---|---|
| １．１歳になるまで育児休業を取得したい | ２．１歳になる前に復帰したい |

**問 31　お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。**
（あてはまる番号１つに○）

| 満足度が低い ← | | | | → 満足度が高い |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

**問 32　こどもや女性に関する相談の窓口として、こども課の中に「女性・こども相談室」があることを知っていますか。**

| | | |
|---|---|---|
| 1．知っている | 2．聞いたことがある | 3．知らない |

**問 33　児童虐待の相談の窓口として、児童相談所の他に市のこども課が窓口になっていることを知っていますか。**

| | |
|---|---|
| 1．知っている | 2．知らない |

**問 34　南砺市が実施している子育てに関する施策の充実度について、それぞれの施策ごとに○を付けてください。**

| | 充実している | わりと充実している | どちらともいえない | あまり充実していない | 充実していない |
|---|---|---|---|---|---|
| 1　幼児教育・保育の質 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2　子育て家庭への経済的支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3　子どもが健全に育つ環境 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4　保育園等の保育サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5　子育て支援センターの支援サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6　放課後の子どもの居場所づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7　ファミリー・サポート・センターの支援サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8　児童虐待防止対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9　ひとり親家庭の自立支援対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10　障がい児施策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11　支援が必要な子ども・家庭への心のケア | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12　仕事と子育ての両立支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13　子どもや親の健康相談体制 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14　食育の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15　小児医療体制 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 16　不妊への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 17　子どもを持つ親の育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 18　子どもの遊び場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 19　道路交通等の安全環境 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 20　犯罪から子どもを守る活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

**問 35　南砺市の子育てに関する施策の中で今後重点的に取り組むべきだと思われる施策は何ですか。（当てはまるものすべてに○）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 幼児教育・保育の質 | 2 | 子育て家庭への経済的支援 |
| 3 | 子どもが健全に育つ環境 | 4 | 保育園等の保育サービス |
| 5 | 子育て支援センターの支援サービス | 6 | 放課後の子どもの居場所づくり |
| 7 | ファミリー・サポート・センターの支援サービス | 8 | 児童虐待防止対策 |
| 9 | ひとり親家庭の自立支援対策 | 10 | 障がい児施策 |
| 11 | 支援が必要な子ども・家庭への心のケア | 12 | 仕事と子育ての両立支援 |
| 13 | 子どもや親の健康相談体制 | 14 | 食育の推進 |
| 15 | 小児医療体制 | 16 | 不妊への支援 |
| 17 | 子どもを持つ親の育成 | 18 | 子どもの遊び場 |
| 19 | 道路交通等の安全環境 | 20 | 犯罪から子どもを守る活動 |
| 21 | その他（　　） | | |

**問 36　最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援（サポート）に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。**

**調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。**

**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ封をして、**
**<u>１２月２８日（金）までに市内保育園・認定こども園の回収箱</u>、**
**または郵便ポストへご投函ください。**

資料４

小学生の保護者の方へ

# 子ども・子育て支援事業に関する アンケート調査票

## 調査実施の趣旨とその目的

南砺市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づき、新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています（平成 27 年度～平成 31 年度）。

本調査は、第２期計画（平成 32 年度～平成 36 年度）を策定するために、計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」の把握のために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望は変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に応じて、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

- 子どもの成長過程の中では、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達とともに、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、その環境を整備することを目指しています。

- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たす上で、子育ての権利を享受することが可能となるよう、支援を行うものです。
  地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する保護者の負担や不安、孤立感を和らげる助けとなることで、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合い、親として成長するとともに、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、より充実した支援の実現を目指しています。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

**南砺市役所 教育委員会 こども課　電話 0763-23-2010**

## 【ご記入にあたってのお願い】

1　アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。
（無記名ですので、住所・氏名の記入は必要ありません。）

2　回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。

3　設問によって、「あてはまる番号１つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（　）内には、具体的な内容を記入してください。

4　数字で時間（時刻）を記入いただく場合は、24 時間制（例：午後６時→18 時）で記入してください。

5　設問の回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

6　記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**１２月２８日（金）までに郵便ポストへ投函してください。**

## お住まいの地域についてうかがいます。

**問１　お住まいの地区はどこですか。**（あてはまる番号１つに○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．城端地区 | ２．平地区 | ３．上平地区 | ４．利賀地区 |
| ５．井波地区 | ６．井口地区 | ７．福野地区 | ８．福光東部小学校区 |
| ９．福光中部小学校区 | 10．福光南部小学校区 | | |

## 封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

**問２　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。**（□内に数字でご記入ください）

| |
|---|
| 平成　　年　　月生まれ |

**問３　宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。**
※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。
※お子さんが２人以上の場合は、末子の生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| きょうだい数 | 人 | 末子の生年月 | 平成 | 年 | 月生まれ |

**問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。**
（あてはまる番号１つに〇）

| | | |
|---|---|---|
| １．母親 | ２．父親 | ３．その他（　　） |

**問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。**
（あてはまる番号１つに〇）

| | |
|---|---|
| １．配偶者がいる | ２．配偶者はいない |

**問６　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。**
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号１つに〇）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| １．父母ともに | ２．主に母親 | ３．主に父親 | ４．主に祖父母 | ５．その他（　　） |

## 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

**問７　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。**

**（１）母親**　（あてはまる番号１つに〇）　※父子家庭の場合は記入不要です。

| | |
|---|---|
| １．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である<br>３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | **⇒（1）-1へ** |
| ５．以前は就労していたが、現在は就労していない<br>６．これまで就労したことがない | **⇒（2）へ** |

**（１）-1　（１）で「１．～４．」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。**
**１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に数字でご記入ください。**
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| １週当たり | 日程度 | １日当たり | 時間程度 |

**（１）-2　（１）で「１．～４．」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。**
**家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。**
※時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は、必ず　（例）09 時台、18 時台のように、24 時間制でお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家を出る時刻 | 時台 | 帰宅時刻 | 時台 |

（２）父親　（あてはまる番号１つに○）　※母子家庭の場合は記入不要です。

| | |
|---|---|
| １．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない<br>２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である<br>３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない<br>４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒ **（2）-1へ** |
| ５．以前は就労していたが、現在は就労していない<br>６．これまで就労したことがない | ⇒ **問9へ** |

（２）-1　**（２）で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。**
**１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、□内に数字でご記入ください。**
※就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| １週当たり | 日程度 | １日当たり | 時間程度 |

（２）-2　**（２）で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。**
**家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。**
※時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は、必ず　（例）09 時台、18 時台のように、24 時間制でお答えください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家を出る時刻 | 時台 | 帰宅時刻 | 時台 |

**問８　問７の（１）または（２）で「３．～４．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。　⇒ 該当しない方は、問9へ**
**フルタイムへの転換希望はありますか。**（あてはまる番号１つに○）

**（１）母親**

| |
|---|
| １．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある |
| ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| ３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望 |
| ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい |

**（２）父親**

| |
|---|
| １．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある |
| ２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| ３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望 |
| ４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい |

**問９　問７の（１）または（２）で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。　⇒ 該当しない方は、問 10 へ**
**就労したいという希望はありますか。**（あてはまる番号・丸数字それぞれ１つに○）
※該当する□内には数字をご記入ください。

**（1）母親**

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2．１年より先、一番下の子どもが　　歳になったころに就労したい

3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→希望する就労形態
① フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1 週当たり　　日程度　　１日当たり　　時間程度

**（2）父親**

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2．１年より先、一番下の子どもが　　歳になったころに就労したい

3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→希望する就労形態
① フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1 週当たり　　日程度　　１日当たり　　時間程度

## 宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

**問 10　宛名のお子さんが小学校１～３年生の方にうかがいます。**　　⇒ **小学校4～6年生の方は、問 11 へ**

**放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。**

（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

| | |
|---|---|
| 1．自宅 | 週　　日くらい |
| 2．祖父母宅や友人・知人宅 | 週　　日くらい |
| 3．塾や習い事<br>（ピアノ教室、学習塾、スポーツ少年団など） | 週　　日くらい |
| 4．児童館※1 | 週　　日くらい |
| 5．放課後子ども教室※2 | 週　　日くらい |
| 6．放課後児童クラブ（学童保育） | 週　　日くらい　→下校時から　　時台まで |
| 7．ファミリー・サポート・センター | 週　　日くらい |
| 8．とやまっ子さんさん広場<br>（子育て支援寺子クラブ、北野子どもふれあい広場、いのくち放課後クラブ、五箇山子ども広場） | 週　　日くらい |
| 9．放課後等デイサービス※3 | 週　　日くらい |
| 10．その他（公民館、公園など） | 週　　日くらい |

※1　児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6．」に回答

※2　地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3　就学中の障がい児の方に対し、放課後や学校休業日に、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを提供します。

**問 11　すべての方（お子さんが小学校１～３年生の方も含む）にうかがいます。**
**小学校４～６年生の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。**（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。
（例）18 時台のように 24 時間制でご記入ください。
※小学校１～３年生の方は、だいぶ先のことになりますので、現在お持ちのイメージでお答えください。

| | |
|---|---|
| １．自宅 | 週　　日くらい |
| ２．祖父母宅や友人・知人宅 | 週　　日くらい |
| ３．塾や習い事<br>（ピアノ教室、学習塾、スポーツ少年団など） | 週　　日くらい |
| ４．児童館※１ | 週　　日くらい |
| ５．放課後子ども教室※２ | 週　　日くらい |
| ６．放課後児童クラブ（学童保育） | 週　　日くらい　→下校時から　　時台まで |
| ７．ファミリー・サポート・センター | 週　　日くらい |
| ８．とやまっ子さんさん広場<br>（子育て支援寺子クラブ、北野子どもふれあい広場、いのくち放課後クラブ、五箇山子ども広場） | 週　　日くらい |
| ９．放課後等デイサービス※3 | 週　　日くらい |
| 10．その他（公民館、公園など） | 週　　日くらい |

※１　児童館で行う放課後児童クラブを利用したい場合は「６．」に回答

**問 12　問 10 または問 11 で「６．放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。**
**宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。**
（（１）（２）それぞれについて、あてはまる番号１つに○）
※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。
（例）08 時台、18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

**（１）土曜日**

| | |
|---|---|
| １．低学年（１～３年生）の間は利用したい<br>２．高学年（４～６年生）になっても利用したい<br>３．利用する必要はない | ⇨ 利用したい時間帯<br>時台から　　時台まで |

**（２）日曜・祝日**

| | |
|---|---|
| １．低学年（１～３年生）の間は利用したい<br>２．高学年（４～６年生）になっても利用したい<br>３．利用する必要はない | ⇨ 利用したい時間帯<br>時台から　　時台まで |

**問 13　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。**（あてはまる番号１つに○）
※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。
（例）08 時台、18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

| | |
|---|---|
| １．低学年（１～３年生）の間は利用したい<br>２．高学年（４～６年生）になっても利用したい<br>３．利用する必要はない | ⇨ 利用したい時間帯<br>時台から　　時台まで |

**問 14　お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。**
（あてはまる番号１つに○）

| 満足度が低い ←→ 満足度が高い | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

**問 15　こどもや女性に関する相談の窓口として、こども課の中に「女性・こども相談室」があることを知っていますか。**

| | | |
|---|---|---|
| 1．知っている | 2．聞いたことがある | 3．知らない |

**問 16　児童虐待の相談の窓口として、児童相談所の他に市のこども課が窓口になっていることを知っていますか。**

| | |
|---|---|
| 1．知っている | 2．知らない |

**問 17　南砺市が実施している子育てに関する施策の充実度について、それぞれの施策ごとに○を付けてください。**

| | 充実している | わりと充実している | どちらともいえない | あまり充実していない | 充実していない |
|---|---|---|---|---|---|
| 1　幼児教育・保育の質 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2　子育て家庭への経済的支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3　子どもが健全に育つ環境 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4　保育園等の保育サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5　子育て支援センターの支援サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6　放課後の子どもの居場所づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7　ファミリー・サポート・センターの支援サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8　児童虐待防止対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9　ひとり親家庭の自立支援対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10　障がい児施策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11　支援が必要な子ども・家庭への心のケア | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12　仕事と子育ての両立支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13　子どもや親の健康相談体制 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14　食育の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15　小児医療体制 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 16　不妊への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 17　子どもを持つ親の育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 18　子どもの遊び場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 19　道路交通等の安全環境 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 20　犯罪から子どもを守る活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

**問 18　南砺市の子育てに関する施策の中で今後重点的に取り組むべきだと思われる施策は何ですか。（当てはまるものすべてに○）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 幼児教育・保育の質 | 2 | 子育て家庭への経済的支援 |
| 3 | 子どもが健全に育つ環境 | 4 | 保育園等の保育サービス |
| 5 | 子育て支援センターの支援サービス | 6 | 放課後の子どもの居場所づくり |
| 7 | ファミリー・サポート・センターの支援サービス | 8 | 児童虐待防止対策 |
| 9 | ひとり親家庭の自立支援対策 | 10 | 障がい児施策 |
| 11 | 支援が必要な子ども・家庭への心のケア | 12 | 仕事と子育ての両立支援 |
| 13 | 子どもや親の健康相談体制 | 14 | 食育の推進 |
| 15 | 小児医療体制 | 16 | 不妊への支援 |
| 17 | 子どもを持つ親の育成 | 18 | 子どもの遊び場 |
| 19 | 道路交通等の安全環境 | 20 | 犯罪から子どもを守る活動 |
| 21 | その他（　　） | | |

**問 17　最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。**

**調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。**
**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ封をして、**
**１２月２８日（金）までに郵便ポストへご投函ください。**

資料５

# 南 砺 市

## 子ども・子育て支援事業に関するアンケート調査

## 妊産婦のみなさまへ

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、南砺市では子ども子育て支援法に基づく「なんとっ子すくすくプラン（南砺市子ども・子育て支援事業計画）」を策定し子育て支援に取り組んでおりますが、さらなる事業の充実を図るため第２期計画（平成 32 年度～平成 36 年度）を策定することになりました。

そこで、ご出産前後の皆様のご出産や子育てに関する意識、仕事復帰へのご意向等を把握するために、アンケート調査を実施いたします。

この調査は、平成２９年１１月１日から平成３０年１０月３１日の間に妊娠届出の手続きをされた方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市の子ども子育て支援事業計画の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

南　砺　市

**【記入にあたってのお願い】**

1. アンケートには、必ず封筒のあて名のご本人が記入してください。
2. 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
3. 設問によって、選択肢をお選びいただく数が異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（　　）内に具体的な内容を記入してください。
4. 設問によって回答していただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
5. 回答していただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

**南砺市役所 教育委員会 こども課　電話 0763-23-2010**

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ封をして

１２月２８日（金）までに ポストにご投函ください。

## １．あなたご自身のことについてお伺いします。

問１．あなたの現在の年齢と結婚したときの年齢、第１子出産時（予定）の年齢をご記入ください。

・現在の年齢 □ 歳

・結婚したときの年齢 □ 歳

・第１子を出産時（予定）の年齢 □ 歳

・現在妊娠中、または出産した子どもは □ 人目

問２．妊娠・出産時（退職・産休前）の職業をお答えください。（１つに○）

１．会社員（常時雇用）
２．公務員（常時雇用）
３．臨時雇用・パート・アルバイト
４．契約社員・派遣社員
５．自営業・家族従業
６．家事専業（専業主婦）
７．内職・在宅勤務
８．無職
９．その他（　　）

問３．あなたの家族構成をお答えください。（１つに○）

１．夫婦だけの世帯（第１子妊娠中）
２．親と子どもの二世代世帯
３．親と子と孫の三世代世帯
４．親と子と孫とひ孫の四世代世帯
５．その他（　　）

問４．あなたの住んでいる地域はどこですか。（１つに○）

１．城端地域
２．平地域
３．上平地域
４．利賀地域
５．井波地域
６．井口地域
７．福野地域
８．福光地域

## ２．妊娠、出産に関してお伺いします。

問５．あなたは、妊娠中に妊婦健診（妊婦一般健康診査）を受診されましたか。（１つに○）

| 妊娠中に、就業中だった人 | 妊娠中に、専業主婦または無職だった人 |
|---|---|
| １．仕事を休んで受けた<br>２．仕事を休まずに受けた<br>３．受けなかった | １．受けた<br>２．受けなかった |

問6．妊婦健診を受診された方にお伺いします。妊婦健診は、何回受診されましたか。（1つに○）

| 妊娠中に、就業中だった人 | | 妊娠中に、専業主婦または無職だった人 | |
|---|---|---|---|
| 1．1回～5回 | 4．15回～20回 | 1．1回～5回 | 4．15回～20回 |
| 2．6回～10回 | 5．21回以上 | 2．6回～10回 | 5．21回以上 |
| 3．11回～14回 | | 3．11回～14回 | |

問7．あなたは市が実施している「マタニティ教室」に参加されましたか。（1つに○）

1．自分一人だけ参加した　　3．参加しなかった
2．夫も一緒に参加した

問8．あなたが妊娠中に不安に思ったこと（思っていること）は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1．無事に赤ちゃんが産まれるかという不安
2．お腹の中で順調に赤ちゃんが育っているかという不安
3．自分自身の体調不良（つわり、だるさ、腰痛、貧血など）
4．出産の時の痛みに耐えられるかという不安
5．産後、赤ちゃんをちゃんと育てられるかという不安
6．産後、夫が育児に協力してくれるかという不安
7．母乳で育てることができるかという不安
8．特に不安はない（なかった）
9．その他（　　）

問9．出産はどこでしました（する予定です）か。（1つに○）

1．健診を受けている医院・病院（南砺市内）　　4．自宅出産
2．健診を受けている医院・病院（南砺市外）　　5．里帰り出産
3．助産院　　6．まだ決めていない

## 3．子どもの人数についてお伺いします。

問10．あなたにとって理想とする子どもの人数は何人ですか。（1つに○）

1．1人　2．2人　3．3人　4．4人　5．5人以上

問11．実際に何人のお子さんを持つ予定ですか。（1つに○）

1．1人　2．2人　3．3人　4．4人　5．5人以上

問 12. 理想の子どもの数より実際の子どもの数が少ないという調査結果があります。
あなたは、そのような結果になるのはなぜだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．出産や育児への心理的な不安や肉体的負担が大きいから
2．子どもは欲しいが、年齢的な理由や身体的理由などで子どもを産めないから
3．仕事と育児との両立が難しいから
4．子どもの養育や教育のための経済的負担が大きいから
5．親などの介護の負担が大きいから
6．自分のやりたいことができなくなったり、自由な時間がなくなるから
7．子どもを持つには家が手狭だから
8．身の回りに子どもがのびのび育つ環境がないから
9．子どもをめぐる社会環境の悪化を考えると子どもを持つことに不安があるから
10. 子どもを産むことについて夫婦の意見が合わないから
11. 配偶者（夫）の育児への理解や協力が足りないから
12. 教育をめぐる状況に対して不安があるから
13. 子どもは少なく産んで、じっくりと育てた方がよいと思うから
14. 乳児・延長保育、学童保育などの子育て支援サービスが不十分だから
15. 子どもはあまり好きではないから
16. その他（　　）
17. 特に理由はない

## 4．産休、育児休業についてお伺いします。

問 13. 妊娠中の就業状況についてお伺いします。（１つに○）

1．現在、妊娠中で就業中
2．現在、妊娠中で休業中
3．就業中に妊娠したが、出産前に退職した
4．就業中に妊娠し、産前産後休業後、職場に復帰した（復帰する予定）
5．妊娠した時、就業していなかった

問 14. 産前産後休業（以下「産休」とします）は、分娩予定日前６週間から出産後８週間の休業をいい、労働基準法に定められています。あなたは、今回の出産にあたり、産休を取得予定ですか（取得中）ですか。（１つに○）

1．取得した、取得中（取得予定）である　　2．取得しなかった、取得の予定はない

問 14－1. **問 14 で「取得しなかった、取得の予定はない」と回答された方にお伺いします。**
産休を取得しなかった（しない）理由は何ですか。（1つに○）

1．出産前に自分から望んで退職したから
2．出産前に退職することを配偶者や家族から望まれたから
3．出産前に退職することが職場では慣例となっているから
4．制度があるのを知らなかった
5．出産前に退職することを上司または事業主に勧められたから
6．その他（　　）

問 15. 育児休業制度は、1歳未満の子どもを持つ保護者の申し出により、養育のため一定期間休業することができる制度です。あなたは、育児休業を取得する予定ですか。（1つに○）

1．取得する予定である（又は取得中）　→　□　日
2．取得しない

問 15－1. **問 15 で「取得する予定である（又は取得中）」と回答された方にお伺いします。**
取得する（した）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．子どもの世話をするのは親として当然だから
2．当然の権利だから
3．子どもの世話をする人がいなかったから
4．仕事と育児の両立は無理だと思うから
5．子どもの世話をすることに生きがいを感じるから
6．配偶者（家族）が希望したから
7．その他（　　）

問 15－2. **問 15 で「取得しない」と回答された方にお伺いします。**
取得しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．出産前に退職したため
2．職場に迷惑をかけるため
3．職場が育児休業を取得しにくい雰囲気であったため
4．復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思ったため
5．自分以外に育児をする人がいたため
6．業務が繁忙であったため
7．仕事にやりがいを感じていたため
8．経済的に厳しくなるため
9．昇進に響くと思ったため
10．その他（　　）

問 16. **産休後、または育児休業後に復職される方にお伺いします。**
仕事に就くにあたって問題となることはどんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1．子どもの発熱などで急な早退や休みに職場の理解が得られない
2．就業時間・条件が合わない
3．子どもを預かってくれるところがない
4．夫や家族の理解や協力が得られない
5．特に問題はない
6．その他（　　）

問 17. 産休後、または育児休業後に復職される方にお伺いします。

仕事の復帰にあたり、お子さんをどこに預けますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 父母（子どもの祖父母）
2. 知人・友人など
3. 保育園・幼稚園
4. 保育ママ
（個人による預かり:保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
5. 事業所内の保育施設
（企業が従業員用に運営する施設）
6. その他の保育施設
7. 一時預かり（一時的に短時間預かる保育）
8. ベビーシッター・家政婦等
9. ファミリー・サポート・センター
（地域住民による子どもの預かりサービス）
10. その他（　　）

すべての方にお伺いします。

問 18. あなたは、会社・職場などにどのような出産・子育て支援策を求めますか。（2つまでに○）

1. 子育て休業中の経済的給付の充実
2. 子育て休業の法定期間以上の取得
3. 子どもが病気等の際の特別休暇の導入
4. 勤務時間の変更やフレックスタイムの活用等、働き方の柔軟性
5. 事業所内託児施設の設置・充実
6. 元の会社（職場）への再雇用
7. 子育て支援制度を利用しやすい職場環境
8. その他
（　　）

問 19. 父親の育児休業についてお伺いします。育児休業を取得する予定ですか。（1つに○）

1. 取得する予定である（又は取得中）　→　□　日
2. 取得しない

問 20. 女性にとって子どもを育てながら、働くために必要なことは何だと思いますか。（主なもの3つまでに○）

1. 夫が家事や育児を分担し、協力すること
2. 「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること
3. 低年齢児保育、病後児保育など多様な保育サービスを充実すること
4. 急な残業、出張など仕事に合わせて、柔軟に対応してくれる保育サービスの整備
5. 女性の勤務時間の短縮やフレックスタイムの導入、育児休業など、子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境であること
6. 男性も子育てに参加できるよう勤務時間の短縮やフレックスタイムの導入、育児休業等、子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境であること
7. 出産・育児のため、退職した人が仕事に復帰できる再雇用制度が、企業に整備されること
8. 育児期間中は自宅で仕事ができるなど働き方が柔軟な制度が企業に整備されること
9. 再就職のための職業訓練、就業・起業相談など女性の就業支援
10. 企業内に保育施設が整備されること
11. 育児休業中の経済的支援が充実すること
12. その他（　　）
13. わからない

## 5．育児の悩みや相談先についてお伺いします。

**以下の設問は、お子さんを出産された方のみお答えください。**

問21．日常、お子さんを育てているあなたの気持ちはどうですか。（あてはまるものすべてに○）

1．子どもがいると毎日の生活が楽しい
2．子育てをすることで自分も成長している
3．子育てが自分の生きがいになっている
4．子育てを負担に感じるときがある
5．子育てについて不安になったり悩むことがある
6．生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある
7．子どもを虐待しているのではないかと思うことがある
8．子育てから解放されたいと思うときがある
9．その他（　　）

問22．あなたは育児に関してどのような悩みをお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）

1．子どもとの接し方・意思疎通
2．育児の方法がよくわからない
3．しつけがうまくいかない
4．育児疲れ
5．祖父母との育児方針の食い違い
6．離乳食など子どもの食事や栄養面
7．ことばなど精神的な発達面
8．指しゃぶりや夜泣きなど性格や行動面
9．経済的な不安・負担
10．母乳育児がうまくいかない
11．子どもの発育や病気
12．子どもとの時間が持てない
13．保育園や幼稚園等の対応
14．子育て仲間とのつきあい
15．子育てのストレス
16．配偶者と育児の意見が合わない
17．自分の時間を十分に持てない
18．不安や悩みを相談する相手がいない
19．特にない
20．その他（　　）

問23．そのような悩みや不安について、相談相手・相談場所はどのようなところですか。（主なもの３つまで○）

1．配偶者
2．父　母（子どもの祖父母）
3．親　戚
4．子育て中の仲間
5．友人・知人・近所の人
6．保健センター
7．医師・看護師・助産師
8．子育て支援センター
9．こども課の女性・こども相談室
10．保育士・幼稚園の先生
11．民生委員・児童委員
12．児童相談所
13．民間の相談サービス
14．インターネット
15．誰にも相談しない
16．相談相手がいない
17．その他（　　）

**すべての方にお伺いします。**

問24．今後、お子さんの子育てについての相談相手、相談場所として希望することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．専門的な相談の機会
2．子どもについて何でも相談できる総合的な窓口
3．電話やインターネットなど匿名で相談できる機会
4．同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の機会
5．身近な地域で気軽に相談できる場所
6．子育て経験者による体験に基づいた子育て相談の機会
7．家庭訪問による相談
8．相談相手、相談場所の必要はない
9．その他（　　）

問 25. こどもや女性に関する相談の窓口として、こども課の中に「女性・こども相談室」があることを知っていますか。（1 つに○）

| | | |
|---|---|---|
| 1．知っている | 2．聞いたことがある | 3．知らない |

問 26. 児童虐待の相談の窓口として、児童相談所の他に市のこども課が窓口になっていることを知っていますか。（1 つに○）

| | |
|---|---|
| 1．知っている | 2．知らない |

## 6．理想とする家庭像についてお伺いします。

問27. 夫はあなたの相談相手、精神的な支えになっていますか。（1 つに○）

| | | |
|---|---|---|
| 1．なっている | 3．ほとんどなっていない | 5．その他 |
| 2．時々なっている | 4．夫はいない | （　　） |

問28. お子さんがいる方のみにお伺いします。夫は育児に参加していますか。（1 つに○）

| | | |
|---|---|---|
| 1．よくしている | 3．ほとんどしない | 5．その他 |
| 2．時々している | 4．夫はいない | （　　） |

問29. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこのことについて、どう思いますか。（1 つに○）

| | | |
|---|---|---|
| 1．そう思う | 2．そう思わない | 3．どちらともいえない |

問30. あなたは、家庭での家事分担はどのようにするのがよいと思いますか。（1 つに○）

1．女性中心で行うほうがよい
2．どちらかといえば女性中心で行うほうがよい
3．男女がお互いに協力し分担するほうがよい
4．男性中心で行うほうがよい
5．それぞれの労働時間に応じて分担するほうがよい
6．その他（　　）
7．わからない

問31. あなたが理想とする家庭像はどのようなものですか。（1 つに○）

1．祖父母、夫婦、子ども等が同居している（多世代同居）
2．夫婦と子どもで暮らしているが、祖父母が近くに住んでいる（2世帯住宅も含む）
3．夫婦と子どものみで暮らす（核家族）
4．夫婦だけで、子どもはつくらない（夫婦のみ世帯）
5．法的な結婚の手続きはしないが、異性と一緒に暮らす
6．結婚はせず一人で暮らす
7．その他（　　）
8．わからない

## 7．南砺市の子育て支援策についてお伺いします。

問32．あなたは、保育サービスはどのような場所で探しますか。（1つに○）

1．家の近く
2．会社、仕事場などの近く
3．距離はあまり関係なく保育内容が良いところ
4．実家の近く
5．送迎してくれるところ
6．その他（　　）

問33．あなたは、保育園、幼稚園においてどのようなサービスの充実を希望しますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．短時間でも預かってくれること
2．保育時間が長いこと
3．土曜、日曜、祝日でも預かってくれること
4．0歳児でも預かってくれること
5．障害児でも預かってくれること
6．早朝や夜間も預かってくれること
7．働いていなくても預かってくれること
8．病気時、病気後も預かってくれること
9．しつけや生活習慣が身につけられること
10．いろいろな遊びや体験ができること
11．施設や設備、食などの安全面への配慮がなされていること
12．食事のアレルギー対応などに配慮してくれること
13．英語や勉強などにも力を入れること
14．その他（　　）

問34．現在、南砺市で行っている下記の①～⑫のサービスを知っていたり、これまで利用したことはありますか。また、今後利用したいですか。サービスごとにAからCのそれぞれについてあてはまる番号1つに○をおつけください。

| 実施主体 | 事業名・内容 | A. 知っている | | B. 利用したことがある | | C. 今後利用したい | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ | わからない |
| 保健センター | ①マタニティ教室 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ②保健センターでの乳幼児発育相談（乳幼児の健康･栄養相談） | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ③7か月児離乳食相談 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ④新生児訪問、赤ちゃん訪問 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑤　④以外の保健師等による継続的な乳幼児への家庭訪問 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| こども課 | ⑥ファミリー・サポート・センター事業 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑦女性・子ども相談室の相談員による育児相談 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑧臨時保育室（イベント時の託児室） | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑨城端児童館「さくらっこ」 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑩井波児童館「きぼりっこ」 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑪福野児童センター「アルカス」 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ⑫福光児童館「きっずらんど」 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑬各子育て支援センター<br>（さくらんぼ・きらきら・なかよし広場・たんぽぽ・あっぷる・にこにこ・コスモス・ほほえみ・ぴよぴよ広場） | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |

問35. あなたは、南砺市において、どのような子育て支援サービスの充実を希望しますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 保育園、幼稚園の保育サービス内容の充実
2. 保育園の再編・適正配置
3. ファミリー・サポート・センター事業の充実
4. 子育て支援センターの事業の充実
5. 子育て相談や子育て講座等の充実
6. 子育てサロン、つどいの広場などの充実
7. 子育てサークルの育成・活動支援
8. 保育園の開放
9. 保育ママの育成
10. 子育て支援ボランティアの育成
11. 放課後児童クラブの充実
12. 専門職による健診・相談等の内容の充実
13. その他（　　）

問36. 子育てする上で、あなたの地域は住みよいですか。（1つに○）

1. 住みよい
2. どちらかといえば住みよい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. わからない

問37. あなたは、南砺市で子育てや教育を続けたいですか。（1つに○）

1. ぜひ住み続けたい
2. 住み続けたい
3. どちらとも考えていない
4. あまり住み続けたいとは思わない
5. できるだけ早く他のまちに移り住みたい
6. わからない

## 8. 少子化問題についてお伺いします。

問38. 今日、全国的に「少子化」が一段と進んでいます。このまま少子化が進むと、子どもの健やかな成長への影響だけでなく将来的には社会経済全体にさまざまな問題を招くことが言われています。あなたは、こうした少子化問題についてどう思いますか。（1つに○）

1. 非常に問題だと思う
2. 多少問題だと思う
3. あまり問題だとは思わない
4. まったく問題だとは思わない
5. これまで考えたことがない

問39．少子化の流れを変えるためには、実効性のある対策を講じていくことが求められます。
次のうち今後どのようなことが重要だと思いますか。（5つまでに○）

1．男女共同参画の意識啓発や男性の家事・育児体験・技術指導などの機会の充実
2．若い世代に対する、結婚や出産・子育ての喜びや楽しさに関する意識啓発
3．学校教育において、子育ての意味や楽しさ、男女共同での家事分担などに対する理解を深める教育
4．子どもを生み育てることを社会全体で暖かく見守ることや支援していくことの必要性についての啓発
5．出産・育児のための休業・短時間勤務の普及、子育てに理解のある職場環境の整備
6．出産・子育てを理由に退職した後の就労再開を希望する者に対する再就職支援
7．仕事と育児の両立の推進に取り組む事業所への支援
8．子育て支援センター、児童館等を活用しての地域における相談機能の強化
9．ファミリー・サポート・センターの利用促進や地域単位でのコミュニティ活動づくりの支援
10．乳児保育や延長保育・一時保育など保育園サービスの充実
11．周産期医療体制や母子保健対策の充実
12．乳幼児・小児医療体制整備など子どもの健康支援
13．自主的な子育てサークルの育成・推進
14．児童虐待防止のための啓発活動や問題発見のための効果的なネットワークづくりの推進
15．出産に係る費用助成の拡充や出産祝い金の拡充
16．児童手当支給終了年齢の引き上げや増額、扶養者控除額のアップなど、税制上の支援
17．保育料、教育費用の軽減
18．子育てしやすい安全快適な住宅の整備推進
19．子ども連れでも安心して出かけられる子育てに配慮した社会環境づくりの推進
20．子どもにとって安全な遊び場の整備推進
21．自然・社会体験、ボランティア、スポーツ活動など子どものための事業推進
22．高齢出産に対する支援制度の充実
23．不妊治療等への補助の充実
24．公的に男女の出会いの場を設けること
25．その他（　　）

問40．近年の少子化の原因としていろいろな要因が指摘されていますが、
あなたは、少子化の主な原因は何であると考えますか。（1つに○）

1．晩婚化といった社会的な風潮が原因である
2．高学歴社会の進展により、女性の人生観の変化や生きる目標が持てるようになったからである
3．女性の社会進出により、女性も一定の所得を上げることができるようになったからである
4．地価の高騰などに誘因する住宅購入価格や賃貸料が高くなったため、子どもをたくさん持てなくなったことが原因である
5．子どもの教育費が高くなり、子どもを一人前にするまでにお金がかかることが原因である
6．見合い結婚などが減り、結婚を前提とした男女の出会いやつきあいの機会が減ったためである
7．結婚そのものが、子どもを産み育てることにつながりにくく、子どもを持たなくても自分たちの生活スタイルを優先した価値観が高くなっているためである
8．その他（　　）

最後に、南砺市の子育てや支援策に関するご意見や、その他のご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

※以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れ封をして、
１２月２８日（金）までに郵便ポストへご投函ください。

資料６

# 第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール（予定）

平成30年11月現在

| 年度 | 月 | 南砺市 | 南砺市子ども・子育て会議 |
|---|---|---|---|
| 30年度 | 4月 | | |
| | 5月 | | |
| | 6月 | | |
| | 7月 | | ・平成30年度　第1回子ども・子育て会議 |
| | 8月 | | |
| | 9月 | ・補正予算要求（第2期支援事業計画策定のための「ニーズ調査」に係る経費） | |
| | 10月 | | |
| | 11月 | | ・第2回子ども・子育て会議<br>（ニーズ調査の実施案） |
| | 12月 | ・ニーズ調査実施 | |
| | 1月 | ・ニーズ調査集計、解析 | |
| | 2月 | | |
| | 3月 | ・ニーズ調査報告書作成<br>・計画書骨子案作成 | ・第3回子ども・子育て会議<br>（ニーズ調査速報、計画骨子案、区域の設定について） |
| 31年度 | 4月 | | |
| | 5月 | ・見込み量の算出<br>・事業計画素案作成<br>・確保策検討 | |
| | 6月 | | ・平成31年度　第1回子ども・子育て会議<br>（見込み量、計画設計案、計画書素案、次世代計画施策評価等について） |
| | 7月 | | |
| | 8月 | | |
| | 9月 | ・事業計画修正案作成 | 9月中・下旬<br>・第2回子ども・子育て会議<br>（確保策・計画書素案） |
| | 10月 | ・計画書素案を議会で説明（11月全協）<br>・計画書のパブコメ実施（11月上旬）20日間 | 10月中・下旬<br>・第3回子ども・子育て会議<br>（計画書修正案） |
| | 11月 | | |
| | 12月 | | |
| | 1月 | ・計画最終案を議会で説明（1月か2月の全協）<br>・3月議会に計画書（案）の上程<br>・事業計画最終版作成 | （1月中）<br>・第4回子ども・子育て会議<br>（計画書最終案・改正条例案等） |
| | 2月 | | |
| | 3月 | | |
| 32年度 | 4月以降 | ・第2期事業計画に基づく施設運営、給付、地域子ども・子育て支援事業の実施 | |